

社会医療法人 長崎記念病院

長崎市深堀町1-11-54

【病院の特徴】

長崎市南西部地域の中核病院として、4つの機能を持つケアミックス型病院の特徴を活かし、地域の方々が生み慣れた場所で暮らすことができるように、医療・看護を提供しています。「地域のためにより良い医療を 心をこめて」の病院理念のもと、「安心と笑顔」を合言葉に職員一同、頑張っています。



- 【設置主体】医療法人
- 【病床数】一般病床164床、療養病床44床、回復期リハビリテーション病棟48床、回復期48床
- 【病床稼働率】73.8%(2016年)
- 【入院基本料】一般10対1、療養病棟入院基本料1、回復期リハビリテーション病棟入院料2
介護療養型医療施設
- 【看護職員数】151人(正規133人、非正規18人)、看護補助者54人
- 【看護職の平均年齢】43.7歳
- 【離職率】5.9%(2016年)



ワークライフ
バランス

主な取り組み	1年目(平成25年度)
<p style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">平成25年度の取り組み</p> <p>プラン1</p> <p>◎WLB推進体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院多職種によるプロジェクトチームと看護部WLB推進チームの活動 <p>プラン2</p> <p>◎看護ケアの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会・KJ法を活用 ・業務量調査 ・時間外業務の洗い出し <p>プラン3</p> <p>◎職員の意識向上のための取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報活動、WLB掲示板を設置 ・「WLB便り」を発行 	<p style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">1年目(平成25年度)</p> <p>👑 1年目の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆全職種で働きやすい職場環境への取り組みを検討できるようになった。 ◆インデックス調査で「看護に費やす時間が十分に取れない」との意見が多かった。対策として、意見交換会を行い、看護について皆で熱い思いを語りあった。 また、業務量調査の結果から業務改善の方向性を見出した ◆広報活動の検討を行い、掲示板や「WLB便り」で情報発信を行い、制度や進行状況などを貼りだし周知した。また、各部署へ配布した。
<p style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">平成26年度の取り組み</p> <p>プラン1</p> <p>◎看護ケアの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務改善、他部署へ業務委譲 ・一部、電子カルテ化 ・固定チームナーシングの推進 <p>プラン2</p> <p>◎時間管理の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務の削減を目指した取り組み ・No残業デイの設定 <p>プラン3</p> <p>◎職員の意識改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則の周知 ・「WLB便り」各部署に配布 	<p style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">2年目(平成26年度)</p> <p>👑 2年目の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全病棟にクラークを配置し、事務的業務を委譲した ・入院時持参薬 → 薬剤師で対応、 ・入院時記録 → 外来看護師と分担し記載 ・電子カルテ化 → 看護支援システムの導入、ナースコールの改良 ・配薬カート導入 → 注射薬を薬剤部で準備 ・採血業務 → 検査技師も急性期病棟で採血を行った ・固定チームナーシング定着を目的に、勉強会を開催した ・時間内退社を目標に業務調整ができるよう、意識づけのため、15時に全館メロディを放送した ・毎週火曜日に、手作りの「カエル」マスコット着用しNo残業デイのPRを行った ・時間設定など、医師の指示だしルールを検討し協力を依頼した ・就業規則について説明会を開催 ◆インデックス調査結果で「看護に費やす時間」が前年より増加し、取り組みの成果が表れた
<p style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">平成27年度の取り組み</p> <p>プラン1</p> <p>◎看護ケアの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定チームナーシングの定着・推進 ・看護補助者支援委員会の立ち上げ ・5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)改善活動の取組み <p>プラン2</p> <p>◎時間管理の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外業務申告制の徹底 ・リフレッシュ休暇の導入 <p>プラン3</p> <p>◎子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24時間保育に関するアンケート調査実施 	<p style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">3年目(平成27年度)</p> <p>👑 3年目の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆看護補助者の支援を行い協働し、看護の底上げを図った。看護ケアの充実につながった。 ◆業務改善と意識改革により、看護ケアの質向上、時間外業務の削減につながった。マンパワーの不足による影響は否めない。今後も継続した取り組みが必要 ◆5S改善活動の取組みについて成果発表会を行った。工夫、改善した事を「見える化」し、新たな発見につなげることができた <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材確保 ・業務効率化の推進、時間外業務の削減、記録時間短縮の検討 ・子育て支援、介護支援の推進 </div>

WLB推進事業に取り組んで

現在も毎日15時になると、院内に全館メロディが流れます。業務調整の合図だけでなく、癒し効果にもなっています。育児休業はほぼ全員が活用、介護休業を利用する職員も増えました。これからも働きやすい職場環境の為、職員全員で知恵を出し合い進めていきたいと思っています。

看護部長 吉野幸代